

赤磐市赤坂中学校区における 小学校統合準備委員会だより

第11号
令和7年7月16日
赤磐市教育委員会

第11回小学校統合準備委員会を開催しました

令和7年6月27日（金）に開催した第11回小学校統合準備委員会において、次の内容について協議されました。

全体会での協議内容

(1) 学校運営部会からの報告

- 制服・体操服について
 - ・制服等選定委員会で協議し決定した。
- 学校のきまりについて
 - ・従来の画一的なきまりにとらわれることなく、児童や保護者の意見を踏まえながらきまりをつくっていく。
- 校歌について
 - ・依頼した福田先生（赤磐市立山陽北小学校 指導教諭）によって校歌案ができた。今後、3小学校の児童の意見を聞いて児童と一緒に最終調整する。
 - ・歌詞・フレーズは公募した結果を踏まえ、作詞者の表現は今後検討する。



(2) 教育課程部会からの報告

- 赤坂小学校の教育内容について
 - ・一人一人の「ちがい」を前提に、多様な子どもを包摂^{ほうせつ}するための具体的な取り組みを工夫していく。
- 統合打合せ会について
 - ・3小学校の教職員が具体的な内容について協議している。今後も継続して検討していく。

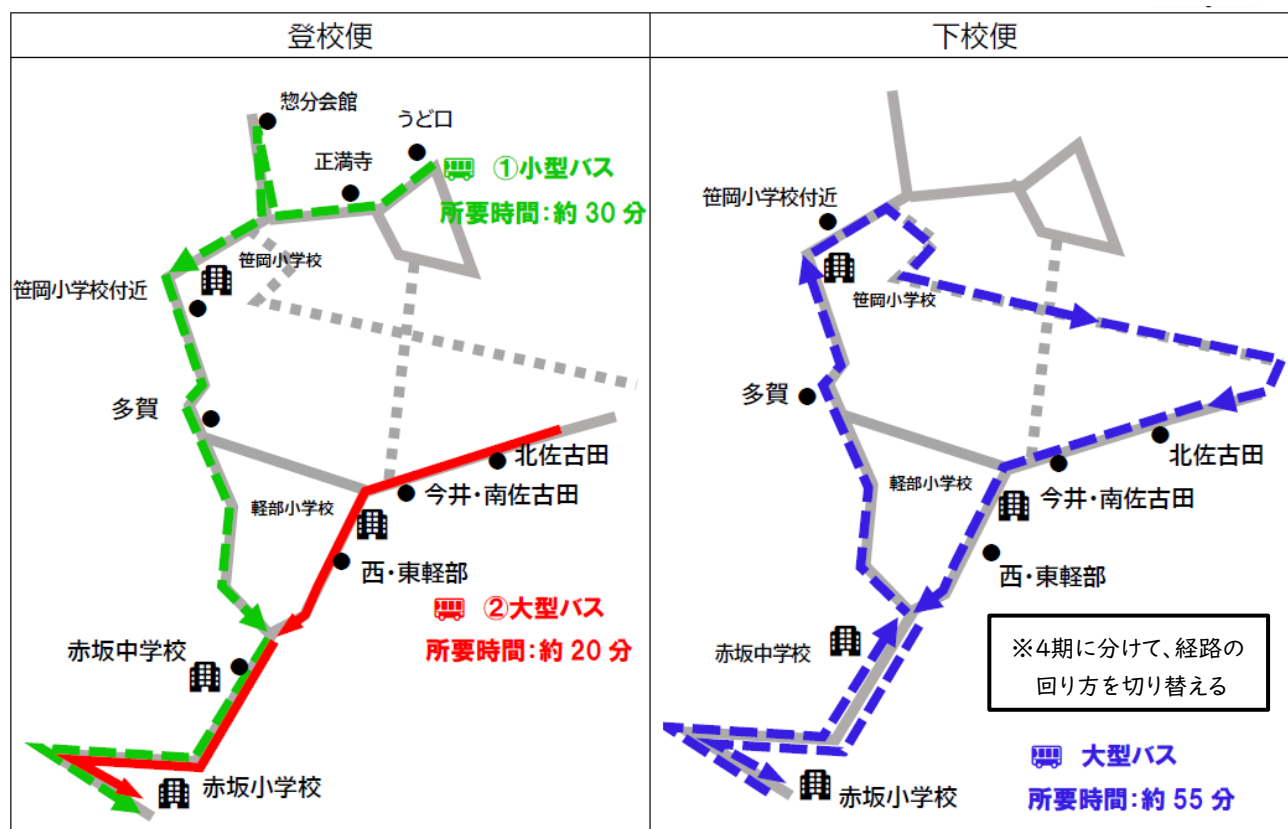
(3) 地域連携部会からの報告

- スクールバスについて
 - ・乗降場所として安全な停車場所が確認できたため、新たに北佐古田を追加する。
 - ・スクールバス利用に係るルールについては、保護者、教職員等の意見を踏まえ具体的な内容を検討していく。

赤磐市教育委員会ホームページ
(赤坂地域の学校再編統合について)



<スクールバス乗降場所>

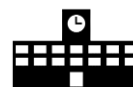


わくわく赤坂小コーナー

「インクルーシブな学校とは？」

「誰一人取り残されない小学校にする」この設立理念を掲げ、「インクルーシブな学校づくり」を目指して赤坂小学校開校に向けて取り組みを進めています。

インクルーシブ教育とは、「様々なマイノリティを含むすべての子どもたちを包摂する教育システムを構築するプロセス」です。赤坂小学校は、子どもの多様性やちがいを大切にする学校を目指します。学校の当たり前と考えられてきた「一斉授業」「全員が同じペースで学習」「同じ方法で学習」等を見直し、一人一人の「ちがい」を前提に一人一人にとって学びやすい環境を整えていきます。そして、子どもたち、教職員、保護者、地域がチームとなり、「認め合う つながる 創り出す」赤坂小学校になることを願っています。



※マイノリティ……少数。少数派。

※包摂……包み込むこと。

※プロセス……手順。過程。

「デジタル大辞泉」より